

令和7年3月21日
地域創生部文化財保護課
文化財活用係
電話 027-898-3547 内線 3547

国登録有形文化財（建造物）の新規登録について

令和7年3月21日（金）に国の文化審議会（会長 しまたにひろゆき 島谷弘幸）が開催され、本県所在の建造物2箇所10件の登録が答申されました。

1 答申が行われた本県所在の建造物

えばらほんけしじょうもうそうこごうとう
江原本家上毛倉庫1号棟
えばらほんけしじょうもうそうこごうれんがとう
江原本家上毛倉庫2号煉瓦棟
えばらほんけしじょうもうそうこごうれんがとう
江原本家上毛倉庫3号煉瓦棟
えばらほんけしじょうもうそうこごうとう
江原本家上毛倉庫7号棟

（所在地：前橋市表町二丁目25-2） 詳細は別添資料①を参照

きゅうあいかわけじゅうたくきゅうてんぼ
旧相川家住宅旧店舗
きゅうあいかわけじゅうたくおもや
旧相川家住宅主屋
きゅうあいかわけじゅうたくどぞう
旧相川家住宅土蔵
きゅうあいかわけじゅうたくいなりしゃ
旧相川家住宅稲荷社
きゅうあいかわけじゅうたくおもてもんおよへい
旧相川家住宅表門及び塀
きゅうあいかわけじゅうたくうらもんおよへい
旧相川家住宅裏門及び塀

（所在地：伊勢崎市三光町6-11他） 詳細は別添資料②を参照

2 登録有形文化財（建造物）数（官報告示後）

・363件（142箇所） （件数10件、箇所数2箇所の増）

3 関係機関 連絡先

- ・前橋市教育委員会文化財保護課 027-280-6511
- ・伊勢崎市教育委員会文化財保護課 0270-75-6672

名 称	構造及び形式	建築年代等	登録基準
江原本家上毛倉庫 1号棟	鉄筋コンクリート造平屋建、 瓦葺、建築面積331㎡	昭和24年建築／平成2年改修	1
江原本家上毛倉庫 2号煉瓦棟	煉瓦造2階建、瓦葺、 建築面積335㎡	明治29年建築／昭和22年頃 ・平成2年・同21年改修	2
江原本家上毛倉庫 3号煉瓦棟	煉瓦造2階建、瓦葺、 建築面積300㎡	明治29年建築／昭和22年頃 ・平成元年・同30年改修	2
江原本家上毛倉庫 7号棟	鉄筋コンクリート造平屋建、 瓦葺、建築面積463㎡	昭和25年建築／平成元年改修	1

※登録基準1 国土の歴史的景観に寄与しているもの

登録基準2 造形の規範となっているもの

(1) 所在地

- ・前橋市表町二丁目 25-2

(2) 概要と建物の変遷

- ・江原本家は繭糸商、金融業、倉庫業等を営み、貴族院議員の江原芳平(1849～1928)等を輩出した旧家です。前橋市長(第5代)を務めた江原桂三郎(1894～1967)は分家出身です。
- ・J R前橋駅北口前に所在する上毛倉庫株式会社は、明治28年(1895)に江原芳平を筆頭株主として設立されました。今回答申の4棟を含む倉庫群は、いずれも現役の営業倉庫として活用されています。長きにわたって繭や生糸を取り扱い、群馬県の近代化を支えました。
- ・【江原本家上毛倉庫1号棟】昭和24年(1949)に繭・生糸の保管倉庫として建築されました。平成2年(1990)には板床を土間に改修しています。敷地の南東側に西面して建つ営業倉庫です。
- ・【江原本家上毛倉庫2号煉瓦棟】明治29年(1896)に繭・生糸の保管倉庫として建築されました。設計施工は清水組(現:清水建設)です。戦時中は前橋空襲による被害を受けましたが、昭和22年(1947)頃には焼失した小屋組が復旧されました。平成2年(1990)に板床を土間へ改修、平成21年(2009)には2階床撤去等の内部改修が行われています。敷地東側に西面して建つ営業倉庫で、3号煉瓦棟と共に敷地内最古の建物です。
- ・【江原本家上毛倉庫3号煉瓦棟】明治29年(1896)に繭・生糸の保管倉庫として建築されました。設計施工は清水組(現:清水建設)です。戦時中は前橋空襲による被害を受けましたが、昭和22年(1947)頃には焼失した小屋組が復旧されました。平成元年(1989)に板床を土間へ改修、平成30年(2009)には2階間仕切り壁の改修が行われています。敷地北側に南面して建つ営業倉庫で、2号煉瓦棟と共に敷地内最古の建物です。
- ・【江原本家上毛倉庫7号棟】昭和25年(1950)に米穀類倉庫として建築されました。設計施工は鹿島建設です。平成元年(1989)には板床を土間に改修しています。敷地の中央部に建つ営業倉庫です。

(3) 建物の特徴

- ・【江原本家上毛倉庫1号棟】鉄筋コンクリート造平屋建・切妻造・棧瓦葺で、外壁モルタル塗仕上、小屋組は木造キングポスト・トラスです。土蔵風の外観が特徴です。
- ・【江原本家上毛倉庫2号煉瓦棟】煉瓦造2階建・切妻造平入・棧瓦葺で、小屋組は

木造キングポスト・トラスです。外壁にアーチ窓を並べた端正な外観で、明治時代の前橋の繁栄を示す貴重な煉瓦造倉庫です。

- ・ **【江原本家上毛倉庫 3号煉瓦棟】** 煉瓦造 2階建・切妻造平入・棧瓦葺で、小屋組は木造キングポスト・トラスです。外壁にアーチ窓を並べた端正な外観で、明治時代の前橋の繁栄を示す貴重な煉瓦造倉庫です。
- ・ **【江原本家上毛倉庫 7号棟】** 鉄筋コンクリート造平屋建・切妻造・棧瓦葺で、外壁モルタル塗仕上、内壁は漆喰塗仕上げで下部は縦板目板張、小屋組は木造キングポスト・トラスです。敷地内最大規模の倉庫です。

(4) 写真 (提供 : 前橋市教育委員会)



江原本家上毛倉庫 1号棟 外観



江原本家上毛倉庫 2号煉瓦棟 外観



江原本家上毛倉庫 3号煉瓦棟 外觀



江原本家上毛倉庫 7号棟 外觀

名 称	構造及び形式	建築年代等	登録基準
旧相川家住宅旧店舗	土蔵造2階建、瓦葺、 建築面積44㎡	江戸後期建築 ／平成26年改修	1
旧相川家住宅主屋	木造平屋建、 金属板葺一部瓦葺、 建築面積100㎡	天保8年(1837)建築 ／昭和33年、平成12年 改修	1
旧相川家住宅土蔵	土蔵造2階建、瓦葺、 建築面積54㎡	天保15年(1844)建築	1
旧相川家住宅稲荷社	土蔵造平屋建、瓦葺、 建築面積5.1㎡	明治15年建築	1
旧相川家住宅表門及び塀	表門 木造、瓦葺、間口2.4m 塀 木造、瓦葺、総延長14m	明治33年建築／平成26 年改修	1
旧相川家住宅裏門及び塀	裏門 木造、瓦葺、間口2.1m 塀 木造、瓦葺、総延長25m	昭和前期建築	1

※登録基準1 国土の歴史的景観に寄与しているもの

(1) 所在地

- ・伊勢崎市三光町 6-11 他

(2) 概要と建物の変遷

- ・相川家は江戸時代に町年寄や巡見使御宿を務めた旧家です。
- ・現在は「相川考古館」として、相川之賀(1866～1950)の収集した考古資料(国指定重要文化財の埴輪4点を含む)等を展示しています。また、敷地内の茶室「觴華庵(しょうかあん)」は県の重要文化財に指定されています。
- ・【旧店舗】江戸後期に建築されたとみられます。金物商を営んでいた時期の店舗で、現在は相川考古館の受付・事務所として活用されています。
- ・【主屋】天保8年(1837)に建築されました。旧店舗の西側に接続する座敷棟です。
- ・【土蔵】天保15年(1844)に建築されました。主屋の北側に建つ旧金物蔵です。現在は相川考古館の展示室として活用されています。
- ・【稲荷社】明治15年(1882)に建築されました。敷地の北東隅に建つ屋敷社です。
- ・【表門及び塀】明治33年(1900)に建築されました。敷地の東側を区画する薬医門と塀です。
- ・【裏門及び塀】昭和前期に建築されたとみられます。敷地の南側を区画する腕木門と塀です。

(3) 建物の特徴

- ・【旧店舗】土蔵造2階建・切妻造・棧瓦葺で、外壁は漆喰塗仕上の旧店舗です。
- ・【主屋】切妻造・鉄板葺の平屋建南北棟で、南東に式台と内玄関を構えます。内部に丁寧な書院座敷を備えた格式高い造りです。
- ・【土蔵】土蔵造2階建・切妻造・棧瓦葺で、東西棟の旧金物蔵です。
- ・【稲荷社】土蔵造・入母屋造妻入・棧瓦葺で、大棟は組棟として宝珠を飾っています。土蔵造の稀少な社殿です。
- ・【表門及び塀】表門は起付き切妻造・本瓦葺で、大棟は七宝繫の透積としています。南側に続く板塀は棧瓦葺で、壁を白漆喰塗・腰下見板張とします。
- ・【裏門及び塀】裏門は切妻造・棧瓦葺で、両開の板扉には堅板を目隙に張っています。塀は土塀で棧瓦葺・腰下見板張です。

(4) 写真 (提供 : 伊勢崎市教育委員会)



旧相川家住宅旧店舗 外観



旧相川家住宅主屋 外観



旧相川家住宅土蔵 外観



旧相川家住宅稲荷社 外観



旧相川家住宅表門及び塀 全景（右側は旧店舗）



旧相川家住宅表門 外観



旧相川家住宅裏門及び塀 全景



旧相川家住宅裏門 外観